今日、京響？

Kyoto Symphony Orchestra

高関健、祈りの「戦争レクイエム」

鎮魂と反戦を歌うブリテンの集大成

2018

8/26日

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後2時30分開演（午後1時30分開場）

Sunday, August 26, 2018 / 2:30PM
Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子 小原 啓楼

木下 美穂子

大西 宇宙

京都市交響楽団

第626回 定期演奏会

The 626th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

開演前（午後2時ごろから）は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

指揮 **高関 健**（常任首席客演指揮者）
Conductor : Ken TAKASEKI (Principal Guest Conductor)

ソプラノ **木下 美穂子**
Soprano : Mihoko KINOSHITA

テノール **小原 啓楼**
Tenor: Keiroh OHARA

バリトン **大西 宇宙**
Baritone : Takaoki ONISHI

合唱 **京響コーラス、京都市少年合唱団**
Choruses : Kyoto Symphony Chorus & Kyoto City Junior Children's Choir

ブリテン：戦争レクイエム op.66
Britten : War Requiem op.66

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500
当日残席がある場合のみ発売▶学生券 S ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000
※学生券は開演1時間前から発売（席種は選べますが、座席指定はできません／学生証をご提示ください）。
※本公演では休憩がないため、後半券の発売はありません。
◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約）をご利用ください。
（お子様お1人につき1,000円／2018年8月17日までに京響075-711-3110へお申し込みください）
◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）があります。
京響（075-711-3110）までお問い合わせください。

プレイガイド（電話予約）
●京都コンサートホール…（075）711-3231 ●ロームシアター京都…（075）746-3201
●24時間オンラインチケット購入 https://www.e-get.jp/kyoto/pt/
●チケットぴあ……（0570）02-9999 Pコード349-199
●ローソンチケット……（0570）000-407 Lコード58094

お問い合わせ
京都市交響楽団（075）711-3110 https://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール（075）711-3231 https://www.kyotoconcerthall.org/
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人アフィニス文化財団
「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛：ローム株式会社 協力：株式会社ドルチェ楽器 後援：（株）エフエム京都
発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music Foundation
ロームミュージック ファンデーション
ROHM SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団 第626回定期演奏会

The 626th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

平和の尊さを考える８月に高関健指揮で聴く、第２次世界大戦の悲惨さを描いたブリテンによる20世紀最大のレクイエム。ソプラノ独唱、混声合唱、児童合唱及びオルガンとフル・オーケストラによるラテン語典礼文と、テノール独唱とバリトン独唱及び室内オーケストラによる英詩人オーウェンの反戦詩が交互に歌われる大作に、戦争を二度と繰り返さないための静かで激しい祈りが満ちる！

指揮　高関 健（常任首席客演指揮者）

Conductor : Ken TAKASEKI (Principal Guest Conductor)

©Masahide Sato

国内はもちろん海外への客演も多く、2013年2月と2017年4月にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、ピエール・ブーレーズ、ミッシャ・マイスキー、イツァーク・パールマンをはじめとする世界的ソリスト、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じてその演奏を絶賛されるなど、絶大な信頼を得ている。京響常任首席客演指揮者（2014年4月～）、東京シティ・フィル常任指揮者（2015年4月～）、仙台フィルレジデント・コンダクター（2018年4月～）、静岡響ミュージック・アドヴァイザー（2018年4月～）。広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督（現在・名誉指揮者）、札幌響正指揮者などを歴任。東京藝術大学音楽学部指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。　twitter.com/KenTakaseki

テノール　小原 啓楼

Tenor: Keiroh OHARA

東京藝術大学卒業。卒業時に松田トシ賞受賞。同大学院博士課程を修了し、博士号を取得。これまでに、佐渡裕プロデュースオペラ『カルメン』、二期会『蝶々夫人』『パリアッチ』や『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、新国立劇場『鹿鳴館』（世界初演）清原久雄、『沈黙』ロドリゴ、『オテロ』カッシオ、『死の都』『パルジファル』や同鑑賞教室『愛の妙薬』ネモリーノ、日生劇場『リア』（開場50周年記念・日本初演）エドマンドの他、ロームシアター京都オープニング事業『フィデリオ』フロレスタンでの力強い歌唱が絶賛を浴びる一方、新国立劇場『夕鶴』与ひょうにおける繊細な日本語歌唱も美しく、高い評価を得ている。17年同鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートン、18年2月二期会『ローエングリン』タイトルロールでも好評を博している。ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ヴェルディ、ドヴォルザーク、マーラー、ブリテン、ロイド=ウェバー等コンサートレパートリーも幅広い。二期会会員。

ソプラノ　木下 美穂子

Soprano : Mihoko KINOSHITA

©Yoshinobu Fukaya aura.Y2

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。二期会研修所修了。第16回出光音楽賞等、多数の受賞歴を持つ。02年小澤征爾指揮『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィラ以降、『ラ・ボエーム』ミミ、『椿姫』ヴィオレッタ、『トゥーランドット』リュー、『カルメン』ミカエラ等を演じる。海外では08年ボルチモア・オペラ『蝶々夫人』タイトルロール、ミシガン・デトロイト歌劇場『蝶々夫人』同役等で各国の舞台に立ち、確固たる国際的評価を築いている。近年は16年ロームシアター京都『フィデリオ』レオノーレ、17年二期会『トスカ』タイトルロール、18年2月同『ローエングリン』エルザに出演。コンサートソリストとしても活躍しており、トスカニーニ・フィル日本公演では、巨匠ロリン・マゼールより賛辞が贈られた。ベートーヴェン「第九」、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「テ・デウム」、マーラー「千人の交響曲」等の出演歴も持つ。本年7月には新国立劇場鑑賞教室『トスカ』タイトルロールに出演予定。二期会会員。

バリトン　大西 宇宙

Baritone : Takaoki ONISHI

武蔵野音楽大学及び大学院卒業。全日本学生音楽コンクール第一位およびイタリア声楽コンコルソ金賞・バリトン特賞を受賞後、IFACジュリアード音楽院声楽オーディションにて最優秀賞を受賞し、日本人としては数少ない声楽専攻生としてジュリアード音楽院に入学。卒業時には在学中の活躍を讃えられ、特別賞と奨学金を付与された。ジュリアード在学中は「フィガロの結婚」「マタイ受難曲」など多くの公演に主要キャストとして抜擢された他、学内オーディションを経て、リンカーン・センターでリサイタル・デビューを飾った。また、アメリカのオペラ・インデックス、リチア・アルバネーゼ=プッチーニ国際コンクールなどのコンクールで第1位を獲得。2015年よりシカゴ・リリック・オペラ歌劇場に所属し、同年、世界初演オペラ「Bel Canto」でアメリカ・プロ・デビューを飾り、国内外で称賛を得た。日本では、ベートーヴェン第九などのソリストを務めるほか、オペラにも出演、今後も国内外での活躍が期待される。

京響コーラス　*Kyoto Symphony Chorus*

1995年秋、京都コンサートホールが完成した当時の京響常任指揮者&音楽監督・井上道義の提唱で「京響第九合唱団」として結成。その後「京響市民合唱団」と改名し、12年からはさらに音楽的な高みをめざして、京響の自主演奏会を軸にオーケストラ合唱作品に取り組む「京響コーラス」と名称を変更、創立者の井上道義を創立カペルマイスター、京響常任指揮者広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて新たにスタートした。現在、約150名の団員で構成されており、毎週月曜日の夜を中心に京響練習場・京都市内文化会館等で練習を行っている。

京都市少年合唱団　*Kyoto City Junior Children's Choir*

公立初の少年合唱団として昭和33年に創立。京都市内より、小学校4年生から中学校3年生まで、総勢200名超の団員が集い、土曜日の定期練習を基本に、毎年、夏と冬に演奏会を開催。「京桜（みやこざくら）」「都紅葉（みやこもみじ）」「みやこ光（ひかり）」、団内オーディションで選抜した「響（ひびき）」などグループ活動も充実。昨年度は、京都市交響楽団やアーティストのゆず・一青窈との共演、当合唱団OBの佐渡裕氏が総監督・指揮を務めた「一万人の第九」、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト歌劇「ジャンニ・スキッキ」「子どもと魔法」に出演するなど、ジャンルや文化を超えた新たな取組にも積極果敢に挑戦を続けている。

京都市交響楽団　*Kyoto Symphony Orchestra*

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

助成：公益財団法人アフィニス文化財団

「音楽文化の担い手としてのプロ・オーケストラが主催する、わが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義がある企画」として選ばれました。

Affinis emblème

京都市交響楽団としては初めての挑戦となるブリテンの「戦争レクイエム」。大小2群のオケで構成される大編成の演奏至難な大作だが、この作品を得意とする高関健のもと、京響と国際的に活躍する日本人ソリスト3人および京響コーラス・京都市少年合唱団が一体となって、この作品に込められた反戦と平和のメッセージを力強く歌い上げてくれることだろう。京響は今や日本のオケのトップクラスの演奏水準にあるだけに、きわめて質の高い演奏になるに違いない。

寺西 基之（アフィニス文化財団　オーケストラ助成委員）